

防潮堤高 = H.W.L※1 + 計画偏差※2 + 設計波に対する必要高

※1 S28年～S38年の台風期における天保山検潮所朔望平均満潮位実測値を使用
(T.P.+0.9m)

※2 伊勢湾台風規模の台風が室戸台風経路を通過した場合に発生すると想定される偏差(吹寄せ・吸上げ考慮)
(尼崎市:3.0m、西宮市・芦屋市:2.7m)

上記のH.W.L及び計画偏差は昭和41年に開催された合同会議(建設省、運輸省、大阪府、兵庫県、大阪市)で決定

○イメージ図(南芦屋浜 南護岸の例)

